## 

# いじめのない町を目指して 児童 生徒サミット

の児童会・生徒会の活動紹介に 期待を込めました。その後に行 校の紹介。参加者は、それぞれ た。続いて行われたのは、 生徒たちでしたが、ゲームを通 ミニゲーム。初対面同士の児童 われたのは、 の宣言を作成してください」と く皆さんで協力していじめ防止 は「これからの未来を担ってい つ。続いて、佐々木茂人教育長 考えていきましょう」とあいさ じめ防止について、自分たちで えさん(山田高校3年)が「い 徒サミット実行委員長の上沢り して自然と打ち解けた様子でし 開催に先立ち、 自己紹介を兼ねた 山田町児童牛

号はサミットの内容についてお知らせします。 し合いを進め、「山田町いじめ防止宣言」を作成しました。今たしたちにできること」でした。児童生徒たちは協力して話たもの。第1回のテーマは「いじめのない学校を目指して、わんでもらい、資質の向上を図ることを目的に初めて開催されの29年度山田町児童生徒サミットが開催されました。これは、成29年度山田町児童生徒サミットが開催されました。これは、7月31日、町中央コミュニティセンター2階集会室で、平7月31日、町中央コミュニティセンター2階集会室で、平



高校生と小学生が協力して話し合い

についての協議がスタート。参そして、いよいよいじめ防止耳を傾けていました。

### いじめ防止につながってほしい

佐々木さんは、「自分の意見を話すのは 難しくて緊張したけど、グループの高校 生がフォローしてくれました」と参加し た感想を話します。また、「この活動が、 町のいじめ防止につながれば良いと思い ます。来年もがんばりたいです」と次へ の意欲も見せてくれました。 サミットに参加して

左から田村大喜君(織笠小6年)、佐々木愛 心さん(同6年)、阿部清佳さん(轟木小6 年)、篠澤麻衣さん(同6年)

らどうか」など活発な けるような運動をした 意見が飛び交いました。 う」「やさしい言葉をか いふりはいけないと思

グル 児童生徒が1年間取り組んでい 見をまとめ、発表。発表された各グループの代表がそれらの意 ポスターにして各学校に掲示。 宣言が採択されました。 意見をもとに、次のいじめ防止 なお、 このいじめ防止宣言は

各グル

ブの意見

加者は4つの

## 田 町 41 じ め 防 止

山

みんなの笑顔を 私たちは、 みんなで守ります。 思いやりの心を持ち

誰とでも仲良くします。

私たちは、一人ひとりの個性を 認め合い、大切にします。

私たちは、いじめに気づいたら、 私たちは、 見て見ぬふりはしません。 スマホやネットで 人を傷つけません。



りえさん(山田高3年)

Æ

私たちは、

明るい

あいさつと

あったか言葉をかわします。

思いやりの言葉をつかう。

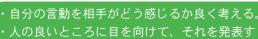
- ・いじめを見かけたら、先生や誰かに相談する。 各学校で元気なあいさつ運動を実施する
  - 相手を尊重する心を持つ。
  - ・宣言には「笑顔」という言葉を入れたい。
  - ・やさしい言葉をかける「あったか言葉運動」 を実施する。



きます。

蓮君(山田中3年)







いじめはあってはならないことだと認識する。

- ・スマホやネットでのいじめ防止に取り組む。
- 学校全体の仲間意識を強くする。

る場を設ける。



謙心君(豊間根中3年)

### 智子さん(山田高2年)

素祐さん 佐々木 (山田高2年)

### 無関係なことではないと実感

今回で、いじめ問題は、自分たちに も無関係なことではないと改めて感じ ることができ、小学生からのいじめに ついての意見もとても参考になりまし た。今回、グループの中で進行役を務 めましたが、緊張してうまくできませ んでした。次回の課題ですね。



理桜さん (山田中3年)

### 自分だけでは気付けないこと

各学校の取り組みの紹介を聞くこと で、自分たちだけでは気付けないこと に気付くことができ、協議では小学生 目線からの意見が参考になりました。 2学期からの学校の取り組みには、今 回採択されたいじめ防止宣言を盛り込 んで、活動していきたいです。